


みちづくり女性会議と協働し、道路案内標識を改善

目的	・道路ユーザーへの明確な情報提供と、道路交通の安全と円滑化の確保
地域	広島県広島市
成果	・副道入口に案内標識を設置する対策を実施 ・今後は対策の実施後、現地での評価やアンケート等を実施し、効果を把握
工夫	・女性会議と協働 ・利用者アンケートの実施
取り組み時期	平成17年度
取り組み主体	国土交通省 中国地方整備局



STEP1

取り組みの背景は？

- ◆ 中国地方の「道」について女性の立場・視点から考える「中国・みちづくり女性会議」が立ち上げられ、意見交換会や現場見学会、「みちづくり女性フォーラム」の開催などが行われています。
- ◆ その活動のなかで、「分かりにくい標識」についての指摘を受け、女性会議と行政の協働により、標識点検の実施しました。

中国・みちづくり女性会議からの提案

【中国・みちづくり女性会議での意見交換会】



【みちづくり女性フォーラムin三次】



- ◆ 発言 ◆ 分かりにくい標識の存在について指摘を受ける。



- 計画 ● 女性会議と協働の**標識点検**の実施を立案

STEP2

取り組んだ内容は？

- ◆ みちづくり女性会議と協働して標識点検を実施しました。

現場点検と意見交換会

現場点検・その後の意見交換会の中で、表示方式について具体的な指摘を受けました。



現場点検



意見交換会開催状況

国道54号祇園新道についての指摘内容

祇園新道は利便性と安全性の向上を目的に副道が整備されていますが、**41箇所ある副道入口がどこも同じように見える**ため、入口を間違えるなどの問題が生じています。

現地状況



どの入口かわからない!

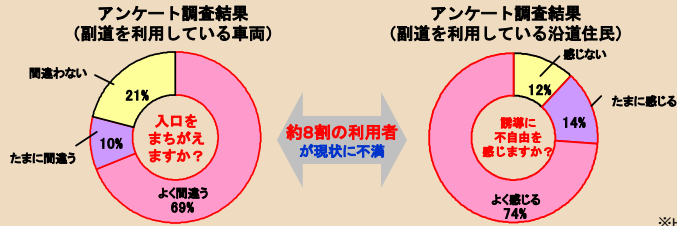
どの入口?



- ◆ 利用者に対してアンケートを実施しました。

利用者アンケートの実施

約8割の利用者が現状に不満を持っていることがわかりました。



- ◆ 副道入口への案内標識の設置を行いました。案内標識には番号と地名を表示することで、進入位置の予測が可能となり、人への説明・誘導が容易になります。

副道入口への案内標識の設置



副道入口
27
西原

『番号』と『地名』を明示

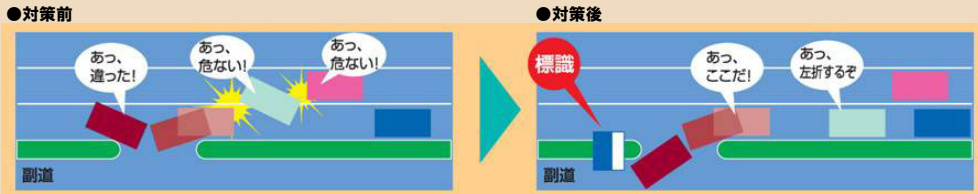


STEP3

その結果は？

- ◆ 標識の設置により、副道へスムーズに進入可能となりました。対策の効果は今後検証します。

標識の設置により、副道へスムーズに進入可能



STEP4

今後の取り組みは？

- ◆ 対策の効果を検証するため、沿線住民にアンケート調査を実施
- ◆ 案内標識による事故の抑制などの効果の検証
- ◆ 今後もきめ細やかな道路整備を実践するため、女性会議との協働を推進